

9月全学連大会へ!

2012年8月15日
46

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長)書記局通信

「紫陽花革命を百万の規模で!」

8・5ヒロシマ学生集会での坂野書記長による基調提起

野田政権を絶対に打倒しよう!

まずみなさんにご報告したいことは、今年の8・6ヒロシマ闘争を广大生が先頭に立って開催しているということです。例えばテントを出してメッセージを集めたり、はだしのゲンのポスターをキャンパス中にガンガン貼ったりして、学内の高揚をつくりだしてきました。そして何よりもすごいことは、現在福島県民1000人以上に刑事告発されている福島県立医大の副学長であり、広大の医学部教授である神谷研二に対して「再稼働をやめろ!」という申し入れをやって今日この場に集まっているということです。



被爆から67年目の8・6ヒロシマを迎えました。本当に激しい状況の中でヒロシマ闘争が行われています。明日のドーム前での集会には在特会の妨害が予想されています。こういって我々はあらゆる妨害をはねのけて、野田を絶対に打倒するんだという確固たる立場をこの集会をもって固めよう。

今までの政権はウソとペテンをつかって我々に欺瞞を通してきた。一つ目は、「原子力の平和利用」の問題です。原爆と原発は一つであることが政府によってずっと隠されてきました。このことを徹底的に弾劾しなければなりません。二つ目は、内部被曝の現実です。このことも徹底的におし隠されてきました。三つ目に、広島・長崎を中心として反戦反核闘争を大爆発させなければならないということと、やはりそれは恒常的な闘いとして、24時間・365日キャンパスで闘うということです。

本報告で訴えたいことの一つは、反原発闘争が空前の盛り上がりを見せています。その一方で、みなさんの大学のキャン



ヒロシマ・ナガサキ・フクシマ・オキナワを結ぶ8・6ヒロシマ大行動が大高揚!

パスではどうですか。京都大学で、東北大学で、福島大学で、敵の憎悪を一身にうけて、私たちは闘い抜いていると思います。改憲や戦争の問題も一つに捉えて路線をつくっていくということなのです。

二つは、我々の到達地平と課題をはっきりさせることです。すべては9月5～6日に行われる全学連大会を今までの歴史になかったようなものにしようということです。沖縄の学生が自分でピラを創ってくれました。「魂ぶつける議論やろうぜ!」というピラです。主役は300万学生です。活動家が頑張るといっても重要ですし、首相官邸前に集まってきている人たちと一緒にやれる闘いをやろうじゃないかということです。

弾圧跳ね返す数十万の決起

みなさんもお存じの通り、反原発闘争が空前の規模で爆発しています。今まで首相官邸前は6車線の道路を封鎖しています。7・29では9車線を占拠しました。20万人で埋め尽くしました。爽快でした。この1ヶ月間、本当に悔しい思いをみんなしてきたと思います。鉄柵が用意されてなかなか車道に飛び出すことができない。こういう規制に対する溜まりに溜まった怒りが爆発した。今何が起きているか。数万、数十万の人々が再稼働は絶対に許せないと実践に飛び出して行く。その目の前に鉄柵が準備される。弾圧が飛び出してくる。これに対して怒りを爆発させる。悔しさ、苦闘に対して怒りを爆発させる中で、政権がグラグラになっていっている。この流れは絶対に止めることはできないんだ。このことを私たちは胸に刻み込まなければなりません。その一方で、フクシマの怒りが爆発しています。(裏面に続く)

第73回全学連大会要項

【日時】9月5日(水)～6日(木)

【会場】東京都内

【参加費】1000円(会場代、資料代など)
宿泊費は除く

8月1日に意見聴取会が行われて、参加した30人中28人が原発反対の声を叩きつけました。圧倒的多数の人々の声は原発反対であることが示されたと思います。今首相官邸前で爆発している怒りの根底には、フクシマの怒りがあるということです。フクシマの怒りが原発反対の大高揚を巻き起こしている。私たちの任務は、もう一回この怒りを福島に還流させることです。福島は本当に苦闘を強いられています。福島と連帯して、福島の現状をぶち破ろうじゃないですか。

3・11直後の政治休戦を思い出してください。テレビでは「原発事故は大したことはない」とかそういうデマが流されて、原発反対の声すらあげられない状況の中で、私たちは3月17日に原発反対のデモに決起しました。そして、3月31日には不当逮捕を打ち破って東電前でデモをやりました。あの政治休戦から不死鳥のように甦った日本の労働者・学生の闘い、ここに圧倒的な確信を持とう。

京大同学会攻防に勝ち抜こう！

その一方でキャンパスではどうでしょうか。私は今、京都大学の同学会に出されている告示第5号を絶対に許すことができません。この中で何が言われているか。「京都大学が公認している規約にのっとった選挙であるとは認められない」だとか言われています。3000人の学生が投票して、2100の信任を得た。学生が真剣に今の大学のあり方を考えて投票した思いを、京大当局は一体どう思っているのかということをお聞きしたい。そして、京大の同学会選挙というのは全国の学生が力を合わせて闘いぬいた選挙闘争であったということです。僕自身も感動しました。私たちの感動を踏みにじる京大当局を絶対に許せないということだし、私たち自身もあの感動をもう一度思い起こしましょうよ。告示第5号を絶対にぶっ飛ばすということを全国学生の総意として確認しましょう。

京大のみならず、全国大学キャンパスで反動が激化しています。東北大学では、今まで学生が力づくで勝ちとってきたサークルの部室が奪われようとしている。あるいは福島大学では学生寮に監視カメラやカードキーをつけるということが狙われている。この反動をどう捉えるのかということが重要だと思います。一言で言って、これは改憲と戦争に向かっての攻撃としてキャンパスで起こっているんだということだと思います。

9月全学連大会の歴史的成功を！

この半年間で勝ちとった地平を今一度確認して、9月全学連大会に向かっていきたいと思えます。

一つ目は、再建された京都大学・同学会を守り、発展させる闘いです。原子カムラの中軸である京大から学生の反乱が開始されました。京大生はクラス討論を継続し、御用学者弾劾の先頭に立ってきました。大学奪還学生行動の中で活動家が大量に生まれていった。全国学生も京大にかけつけました。京大同学会攻防を全国学生の課題として取り組もう。

二つ目に、フクシマの怒りと一つになって闘いぬいてきたことです。全国学生の団結は法大であり、フクシマの怒りでつくられてきました。私たちの世代は一言で言って新自由主義世代です。今まで徹底して分断され競争させられてきました。こういう生き方を強制させられてきた。でも、フクシマの怒りと連帯することによって、人間的な共同性が甦ってきた。この社会を動かしていく根源的な力をつかみとってきた



8月6日、野田と中電を直撃するデモを打ち抜く！

と思います。三つ目に、法大闘争です。法大闘争は暴処法裁判で無罪判決を勝ちとりました。画期的な勝利です。法大闘争は新自由主義と徹底的に闘って闘って闘いぬいて、その中から路線を形成して大衆の怒りに火をつける宣伝煽動を考えぬいてきました。「一人の仲間も見捨てない」というスローガンも生み出しました。こういう闘いを全国キャンパスでやっ

ていこう。最後に、9月5 - 6日に向けての全学連大会に向けて訴えます。一つは、反原発闘争の高揚をどこまでも発展させるということです。アジサイ革命を百万の規模で爆発させよう。さらに大胆に、さらに積極的に訴えていこう。首相官邸前に集まった学生が丸ごと全学連大会に集まるというような壮大なイメージを持って闘おう。私たちの主体的な変革が一切です。二つは、京大同学会を先頭にキャンパスでの攻防をさらに発展させようということです。三つは、反原発闘争の巨大な高揚の中で学生自治会をつくらうということです。最後に、これまでの規模を変えるような歴史的大会にしよう。自分たちのキャンパスでも歴史的な事態が起こらないわけがないじゃありませんか。全身全霊をかけて闘おう。

8・10首相官邸前行動に8万人！



8月10日、8・6 - 9ヒロシマ・ナガサキの闘いを引き継いで首相官邸前行動が8万人の大結集で闘いぬかれました。

同日に民・自・公が消費税増税関連法を成立させたことも含め、野田政権への怒りはさらに高まっています。「野田打倒！」の叫びをさらに激しく、さらに大きく広げていこう！